

はじめに

本市は少子高齢化と過疎化の進展に伴う人口減少を克服するため、平成28年1月に「高梁市まち・ひと・しごと総合戦略」を策定し、定住対策を最重要課題として重点的に取り組んでまいりました。しかしながら、総人口が減少していく中、今後も高齢化率は上昇し、高齢者を支える生産年齢人口は減少していく見込みです。



高齢者が住み慣れた地域で自分らしい自立した日常生活を続けるためには、支え手の減少など、多くの課題を抱えています。加えて、平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興と、新型コロナウイルス感染症を想定した「新しい生活様式」の実践など、本市を取り巻く社会環境が著しく変化しています。

この複雑化・複合化した課題に対しては、団塊ジュニア世代が65歳以上となる2040年（令和22年）を見据え、医療・介護・福祉を含めた包括的な支援体制の整備が必要不可欠であり、「地域包括ケアシステムの構築」と「介護保険制度の持続可能性の確保」のために効果的な施策を講じていく必要があります。

「高梁市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画（令和3年度～令和5年度）」は、高梁市総合計画に掲げた「健幸都市 たかはし」の実現に向けて、基本方針の柱の一つである「心のつながりを大切に支え合い助け合う健康のまち」を基に策定いたしました。

本計画では、健康で心豊かに暮らせる環境を整え、生涯を通じた心身の健康づくりを推進し、健康寿命の延伸を目指すとともに、高齢者が地域とのつながりや生きがいを持ちながら、住み慣れた地域で自分らしい生活を人生の最後まで続けられるよう、医療、介護、介護予防、住まい、生活支援を一体的に提供できる「地域包括ケアシステム」のより一層の充実を目指してまいります。

この目的を達成するため、市民の皆さまや関係団体、民間事業者の方々のご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたりご尽力いただきました高梁市介護保険事業計画推進委員会委員の皆さまをはじめ、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査等にご協力いただきました市民の皆さま、関係各位に厚くお礼を申し上げます。

令和3年3月

高梁市長 近藤 隆 則